

「JR連合ビジョン」の実践と
政策の推進を通じて、
JR産業の持続的発展と
組合員の幸せを実現しよう!

http://www.jr-rengo.jp



J R 連 合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook

JR連合

twitter

JR連合

「JR連合ビジョン」の実践で難局を丸とらえて乗り越える

「JR各単組」で定期大会を開催

貨物鉄道第36回定期全国大会 連携を密に取り合い総力を結集

貨物鉄道第36回定期全国大会は、7月4日、第36回定期全国大会を静岡市内で開催し、2020年度の運動方針を満場一致で決定した。今大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため書面議決の形式を採った。

冒頭、執行部を代表して大杉正美中央執行委員長（JR連合副会長）は挨拶に立ち、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による



同意確認書により満場一致の採択を確認

化に対応し、JR産業が持続的に発展していくためには、健全な労働組合と会社を合わせた力が必要だ。組合員一人ひとりが、責任と使命感を持って、会社と組合の発展に貢献し、社会の発展に貢献することを期す。また、現下の状況によって、JR連合

JR東海ユニオン第13回拡大中央執行委員会 自らの手で将来を切り拓く歩みを

JR東海ユニオンは7月8日、豊橋市内において第13回拡大中央執行委員会を開催し、書面にて手続きを進めた。第29回定期大会の2020年度運動方針を決定し、各議案が賛成多数で採決されたことを確認した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面にて定期大会を開催すると判断し、議案書を各代表議員・特別代表議員に送付し

JR西労組第32回定期中央本部大会 責任ある運動を力強く展開

JR西労組は、7月20日、岡山・京都・大阪・和歌山・広島との5会場をテレビ会議システムでつなぎ、ライブ形式により第32回定期中央本部大会を開催した。

「創造、参加、実践」と「全組合員の総団結」をこの難局を乗り越え、安全を基

JR九州労組第29回定期大会 組織の総力を結集し積極果敢に

JR九州労組は7月9日、中央本部会議室で第29回定期大会を開催した。

当日は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、全議案を書面による議決としたことを踏まえ、中央本部専従

JR四国労組第39回定期大会 団結力と創造力で運動を展開

JR四国労組は、7月10日、香川県宇多津町において、第39回定期大会を開催した。開会にあたっては新型コロナウイルス感染症対策を人念に施しながら、四



JR四国労組運動の進化にむけ団結がんばろう

「組織の強化・拡大」「労働環境の改善」の三本柱について所信を示したうえで、「これまで以上に団結を固め、取り巻く環境を冷静に見極め、創造力をフルに発揮し、来たる明るい将来にむけて力強く運動を展開し、「進化」させていこう」と呼びかけた。

JR連合萩山会長からは「JR連合ビジョン」に触れ「新型コロナウイルスへの対応をはじめ労働組合の必要性は

結がらばるうの三唱で、貨物鉄道労働の今後の運動の一層の展開と、さらなる前進にむけて決意を固めた。



議決結果を確認後、議長が全議案の可決を宣言

冒頭、出席者を前に挨拶した中、原博徳中央執行委員長（JR連合副会長）は、本定期大会を書面議決としたこと

度度の運動方針を決定した。JR連合からは萩山市明会長と中村鉄平交通政策部長

「組織の強化・拡大」「労働環境の改善」の三本柱について所信を示したうえで、「これまで以上に団結を固め、取り巻く環境を冷静に見極め、創造力をフルに発揮し、来たる明るい将来にむけて力強く運動を展開し、「進化」させていこう」と呼びかけた。

JR連合萩山会長からは「JR連合ビジョン」に触れ「新型コロナウイルスへの対応をはじめ労働組合の必要性は

結がらばるうの三唱で、貨物鉄道労働の今後の運動の一層の展開と、さらなる前進にむけて決意を固めた。



5会場をテレビ会議でつなぎ全議案の満場一致を確認

「創造、参加、実践」と「全組合員の総団結」をこの難局を乗り越え、安全を基

この難局を乗り越え、安全を基



拡大執行委員会を開催し定期大会の議案採決を確認

国土交通省への要請行動

コロナの影響と今後の社会変化を見据え JR産業の持続的な成長への支援求める



組合員の思いを込めた要請書を御法川副大臣に手交

働く仲間が安心して働き続けられる環境整備を

6月29日、新型コロナウイルス感染症拡大による影響と今後の環境変化を踏まえたJR産業の持続的な成長につながる取り組みに対する支援を求め、御法川信英国土交通副大臣への要請行動を実施した。JR連合国会議員懇談会からは泉健太副会長(衆議院議員)、小川淳也事務局長(衆議院議員)、JR連合からは萩山市明会長、昆弘美副会長(JR北労組中央執行委員長)、上村良成副会長(JR西労組中央執行委員長)、中村鉄平部長が出席し、JR産業が地域の社会的役割を果たしながら、働く仲間が安心して働き続けられる環境整備の必要性を強く訴えた。

萩山会長は「JRは最も深刻な影響を被っている産業のひとつ。JR連合の試算ではグループ全体ですでに1兆円ほどの収入が「蒸発した」と新型コロナウイルス感染症による減収の重大度に触れ、①科学的な見地からの安心利用への情報発信と需要喚起への支援

②衛生対策や混雑緩和にむけた運賃・料金制度の見直しやオフピーク利用時のポイント還元への助成、③固定資産税等の減免措置の実施等を求め、労使で意思疎通を図り、検討を進めてきた。ベクトルは一致している」と締めくくった。



御法川副大臣から鉄道をはじめとするエッセンシャルワーカーへの感謝と、税制改正の議論が重要との認識が述べられた

続いて、上村副会長からは、利用の平準化を進める必要性を訴えつつ、「労働力不足への対応としても終電時間の繰り上げも有効であり、この機会に進めていくべき」と問題提起した。昆副会長からは、JR北海道やJR四国の経営の厳しさが一層増したことから、国への返済猶予が必要とし



「今後も地域における持続可能な交通体系を維持するためにも、JR北海道・JR四国・JR貨物がそれぞれ経営自立を図るとともに、経営のあり方と地域における交通体系のあり方を区分して目指すべき将来像を検討し、助成の仕組みの見直しも含め、中長期的視点に立脚した政策を実行していくことが必要不可欠」とあり、まさにJR連合の主張が反映された形となった。

JR北海道・JR四国・JR貨物の経営自立に支援を 立憲民主党・国民民主党WT

議員懇談会・議員フォーラム所属議員が中心に国土交通大臣に要請
6月29日、立憲民主党公 北海道・JR四国・JR貨物 共交通のあり方検討ワーキングチーム(立憲WT)及び国民民主党「JR二島・貨物問題検討ワーキングチーム」(国民WT)は、副会長の泉健太衆議院議員(国民WT座長)、21世紀共同会派「立国社」としての鉄道を考える議員フォーラム所属の白石洋一衆議院

議員(国民WT事務局長)、矢上雅義衆議院議員(立憲WT座長)らが参加し、御法川信英国土交通副大臣に要請書を手交した。同WTにおいては5月28日にJR連合へのヒアリングを実施しており、JR連

合からはJR二島・貨物経営自立実現PTの政策提言・中間とりまとめに基づいた説明を行った。今回の要請書には、「今後も地域における持続可能な交通体系を維持するためにも、



JR二島・貨物経営自立実現PTの主張が反映された要望書が提出された

JR西日本連合第29回定期大会 全組合員の団結でJR西日本グループの存続を

JR西日本グループ労働組合連合会(JR西日本連合)は7月21日、大阪市内で第29回定期大会を開催した。

大会は、「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を遵守し、出席者も幹事会と代議員に限定。適切な感染防止策を徹底した上で開催され、新年度の活動方針を満場一致で決定した。

上村良成議長(JR連合副会長・JR西労組中央執行委員長)は挨拶の冒頭、「新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、組合員と家族、利用者の安全と健康を守り、グループ全体での雇用を守る。そして、全組合員が団結してJR西日本グループの存続を『誓う』と決意を述べた上で、本大会で付託



グループ全体で力を合わせ団結してがんばろう
知している。次年度税制改正における議論が重要」と認識を示した。

された重要課題として、①コミュニケーションを通じた職場からの安全の確立、②新型コロナウイルス感染症への対応、③働き方改革と2021年春季生活闘争への対応、④労働組合の意義、⑤JR西日本グループの活用促進による支え合いの5点について提起し、それぞれに対する見解を述べた。

議事では、幹事会が提起した議案に対して11人の代議員から、新型コロナウイルス感染症への対応と課題、JR西日本グループの利用促進、JR西日本への要望等の発言があった。

また、大会には長谷川一明JR西日本代表取締役社長が駆けつけ、会社施策に対するJR西日本連合の理解と協力を謝辞を述べるとともに、出席者に対して「JR西日本グループに結集するすべての労使が力を合わせてこの難局を乗り越えよう」と呼びかけた。

役員紹介



JR連合佐賀県協議会
議長
花田祐希さん

みなさんお疲れ様です。JR連合組、約400人で活動に取り組んでいます。

佐賀県協議会会長の花田です。年齢は今年で41歳、熊本出身の肥後もっこです。私は、2019年に議長に就任し、間もなく1年が経とうとしておりますが、「どんな活動から進めればよいのか?」と、今でも模索の日々であります。

佐賀県協議会はJR九州労組とJR九州バス労組嬉野分会との2単新幹線西九州ルートの新駅として開

業が予定されている「嬉野温泉」で開催し、交通政策についての議論を深めるとともに、佐賀県の美味しい日本酒についてもみなさんと酔いを深める事ができました。

お酒好きな私は、「出合い」「ふれ合い」「語り合い(過ぎて)」、よくお酒も飲まれ過ぎてしまふのですが、それも一期一会の大切な事だと自分で信じ、今後もJR連合に集う組合員のみなさんと交流を深めたいと思っております。

みなさん、九州へお越しの際は、博多から特急かもめで35分の佐賀にも是非お立ち寄りいただき、出合い、ふれ合い、語り合いましょう。

「令和2年7月豪雨」により被害を受けられた皆さまへ

「令和2年7月豪雨」により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、災害復旧に従事されている職場で働く仲間へ敬意を表します。

この度の「令和2年7月豪雨」によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみ申し上げます。

また、被災された方々の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

交運共済

みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

守るのはあなたの家族とマイホーム

家族の幸せを災害から守る
火災共済/地震風水害共済